

# 平成30年6月 東京地区百貨店売上高概況

平成30年7月24日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,406億円余
2. 前年同月比	6.9% (5か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭8.4%(91.3%) : 非店頭-6.9%(8.7%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成30年5月対比±0店)
5. 総店舗面積	841,362㎡ (前年同月比:-0.7%)
6. 総従業員数	18,286人 (前年同月比:-1.6%)
7. 3か月移動平均値	11-1月 1.5%、12-2月 0.5%、1-3月 0.1%、 2-4月 0.8%、3-5月 1.0%、4-6月 3.4%

[参考] 平成29年6月の売上高増減率は1.1%

### 【特徴】

- (1) 6月の東京地区入店客数は、5.8%増と8か月連続プラス。クリアランスセール前倒しや各社企画・催事に加え、例年より早い梅雨明けや気温上昇も後押しした。売上高も5か月連続プラスの6.9%と前月より5.6ポイントアップ。主力の衣料品をはじめ主要4品目で前年をクリアし、盛夏物アイテムやUV関連商品を中心に好調推移した。クリアランスでは、プロパー（正価）商品が高い伸びを示す店舗も見られ、価値志向を重視した消費者の購買行動が窺える。
- (2) 商品別では、衣料品が11.4%増と二桁の高い伸び（2015年4月以来）。紳士服、婦人服、子供服ともに二桁増で、紳士服はシャツ、カットソー、スラックス、婦人服ではワンピース、ブラウス、スカートなどが動いた。
- (3) また、インバウンドと高額消費の増勢を受け、ラグジュアリーブランドなど身のまわり品、化粧品や高額品（美術・宝飾・貴金属）などの雑貨も引き続き好調。食料品は2か月連続増であったが、生鮮食品は前年に届かなかった。家庭用品は家電の前年外商特需の反動減によりマイナス。
- (4) 暑さが本格化する中、ビアガーデンが活況。テーマ性を打ち出すなど付加価値のある新しい場の創出の人气が高まっている。中元商戦では、店頭売上をネット受注がカバーしほぼ前年並みとなった。
- (5) 7月中間段階の商況は、5.5%減（7/18）で推移。下旬には、「プレミアムフライデー」を活用した「プレミアム サマー バザール」を開催し、クリアランスセールを中心に各店様々な催事を展開する。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日（前年同月比 ±0.0日）
- (2) 入店客数増減（回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数19店舗）  
①増加した：11店、②変化なし：3店、③減少した：5店
- (3) 6月歳時記（中元、父の日）の売上（同上／有効回答数12店舗）  
①増加した：2店、②変化なし：6店、③減少した：4店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2018年06月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>140,686,566</b>	<b>100.0</b>	<b>6.9</b>
紳士服・洋品	10,833,254	7.7	11.5
婦人服・洋品	23,105,252	16.4	12.1
子供服・洋品	2,183,848	1.6	14.5
その他衣料品	2,436,378	1.7	2.3
<b>衣 料 品</b>	<b>38,558,732</b>	<b>27.4</b>	<b>11.4</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>19,623,454</b>	<b>13.9</b>	<b>10.8</b>
化粧品	14,510,421	10.3	21.0
美術・宝飾・貴金属	9,776,960	6.9	3.4
その他雑貨	5,638,862	4.0	9.8
<b>雑 貨</b>	<b>29,926,243</b>	<b>21.3</b>	<b>12.6</b>
家 具	1,474,384	1.0	14.1
家 電	615,449	0.4	-37.5
その他家庭用品	3,661,697	2.6	2.0
<b>家 庭 用 品</b>	<b>5,751,530</b>	<b>4.1</b>	<b>-2.0</b>
生 鮮 食 品	5,722,756	4.1	-1.3
菓 子	10,016,730	7.1	1.2
惣 菜	7,135,644	5.1	0.5
その他食料品	14,846,144	10.6	0.5
<b>食 料 品</b>	<b>37,721,274</b>	<b>26.8</b>	<b>0.4</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>3,056,154</b>	<b>2.2</b>	<b>2.3</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>2,046,389</b>	<b>1.5</b>	<b>0.5</b>
<b>そ の 他</b>	<b>4,002,790</b>	<b>2.8</b>	<b>-6.2</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	4,419,502 千円	2.9
従 業 員 数	18,286 人	-1.6
店 舗 面 積	841,362 m <sup>2</sup>	-0.7

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が19か月連続、身のまわり品が6か月連続、食料品が2か月連続、衣料品が2か月ぶりのプラスとなった。また、家庭用品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が39か月連続、美術・宝飾・貴金属が14か月連続、その他雑貨が7か月連続、家具、その他食料品が2か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品が2か月ぶり、菓子、惣菜が6か月ぶり、その他衣料品が9か月ぶり、その他家庭用品が15か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>6.9</b>	<b>—</b>	<b>5か月連続プラス</b>
紳士服・洋品	11.5	0.8	2か月ぶりプラス
婦人服・洋品	12.1	1.9	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	14.5	0.2	2か月ぶりプラス
その他衣料品	2.3	0.0	9か月ぶりプラス
<b>衣料品</b>	<b>11.4</b>	<b>3.0</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>10.8</b>	<b>1.5</b>	<b>6か月連続プラス</b>
化粧品	21.0	1.9	39か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.4	0.2	14か月連続プラス*
その他雑貨	9.8	0.4	7か月連続プラス*
<b>雑貨</b>	<b>12.6</b>	<b>2.5</b>	<b>19か月連続プラス</b>
家具	14.1	0.1	2か月連続プラス
家電	-37.5	-0.3	3か月ぶりマイナス
その他家庭用品	2.0	0.1	15か月ぶりプラス
<b>家庭用品</b>	<b>-2.0</b>	<b>-0.1</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
生鮮食品	-1.3	-0.1	28か月連続マイナス*
菓子	1.2	0.1	6か月ぶりプラス*
惣菜	0.5	0.0	6か月ぶりプラス*
その他食料品	0.5	0.1	2か月連続プラス*
<b>食料品</b>	<b>0.4</b>	<b>0.1</b>	<b>2か月連続プラス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>2.3</b>	<b>0.1</b>	<b>10か月ぶりプラス</b>
<b>サービス</b>	<b>0.5</b>	<b>0.0</b>	<b>3か月ぶりプラス</b>
<b>その他</b>	<b>-6.2</b>	<b>-0.2</b>	<b>6か月連続マイナス</b>
<b>商品券</b>	<b>2.9</b>	<b>0.1</b>	<b>3か月連続プラス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>